

## 平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

エンパワメントスクール(ES)としての役割を十分に果たしつつ、成城高校独自の強みを活かし、自律し自立することで社会貢献できる人材を育成する学校

- 学びを大切にし、基礎基本の学力充実と夢実現の発展的学力の養成。
- 規範意識を身に着け、自己と他者を大切にできる人間育成と安心・安全な学校。
- 自己有用感に満ち、社会貢献できる知識とスキルの習得。

## 2 中期的目標

## 1 成城高校がめざす ES としての成果をあげるための取り組み

## (1) ES の基本である学び直し学習を着実にやり、発展的学力や知識習得ための取り組み

ア 「授業改善プロジェクト」を立ち上げ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための取り組みを行い、成城スタンダードを確立する。

中京大学の授業改革研究者との連携を継続し「学習課題」を明確に示し、その成果を実感できる授業を実施する。

- \* 生徒向け学校教育自己診断における授業満足度（平成 29 年度は 38.4%）を引き上げ、平成 30 年度は 50%、平成 32 年度に 70%にする。

イ 成城みらいプロジェクトをさらに充実させ、教頭・首席中心のユニットでのミーティングを中心に、初任者を含む経験の少ない教員のスキルアップを図る。

- \* 相互の授業見学を積極的に行い、良好な人間関係と授業力向上をめざす。

- \* 5 年後の成城を見据えた新たな取り組みを模索し、職員会議に提案する

ウ ICT を活用した学びの充実

- \* 全普通教室にホワイトボードを設置し、「電子黒板の一層の有効活用」を研究しさらに進める。また「タブレット端末の活用」を強力に進めることで、居眠り防止等授業への集中度を高める。

- \* 座学での ICT 活用実施者割合を平成 30 年度は 60%とし平成 32 年度は 70%を達成する。

## 2 高い規範意識で自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活の送れる学校作り

## (1) いじめられ経験や不登校経験をもつ生徒への対応

ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC 及び担任団を中心としたサポートチームの強化

イ いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導

- \* いじめアンケートを各学期に実施し、情報収集と相談しやすい環境づくり
- \* 一層寄り添う心と丁寧な指導で、生徒の安全で安心な学習環境を維持する。不登校ゼロをめざす

## (2) 生徒が充実した高校生活を送るための取り組み強化

ア 学校生活を大切にさせるための取り組み強化

- \* 平成 32 年度保護者対象学校教育自己診断での「学校に対する満足度」を 90%にする。（満足度指数記入欄を設ける）
- \* 平成 32 年度生徒対象学校教育自己診断で、「学校へ行くのが楽しい」回答を 80%にする。
- \* 総遅刻回数・欠席日数とも前年比各 10%減を達成する。
- \* 中退率維持（平成 29 年度は 0.8%）

イ 部活動の活性化

- \* 平成 30 年度、部活動加入率全体 75%、1 年生 85%にする。（平成 29 年度全体 68.9% 1 年生 73.9%）

ウ 学校環境の整備

- \* 組織の枠組みの見直し・・・教員の連携強化を図り、学びの充実と生徒の夢実現に取り組む
- \* 働き方改革・・・会議のスリム化・定例化。重要性と緊急性の見極め徹底（期日厳守）

## 3 進路保障

## (1) 基礎学力を身に着け、発展的学力を充実させる。

ア 公開授業・研究協議の維持

- \* 授業公開 3 回実施。教員相互の授業見学を積極的に行い、毎回レポート提出を提出。3 年後 100 枚の達成をめざす。

イ 「主体的・対話的で深い学び」の探求・実践・充実

- \* 教育産業が実施する学力診断テスト用い生徒の学力を定点観測し学力向上をはかる。評価指標である D 3 の割合を平成 30 年度も 10%減をめざし平成 31 年度は全体の 15%以下を目標とする。
- \* 平成 31 年度生徒対象学校教育自己診断で「授業が充実している」回答 80%とする。（平成 29 年度は 55%）

## (2) 希望進路の実現をめざし、高いモチベーションを維持するための取り組み

ア 進路指導部主導型の進路指導体制を構築し、卒業時進路未決定者 0（ゼロ）実現

- \* 入学当初の進路希望・夢実現に向けて、やる気にさせる取り組みを実施
- \* 進路未決定卒業生率を平成 29 年度以降減少させゼロをめざす。（平成 29 年度は 0.5%）

イ 社会で役立つ資格等を取得するための取り組みと、進学に向けた英語、数学、国語の進学講習の充実。

- \* 平成 31 年度、実用英語検定 2 級 2 名、準 2 級 20 名、3 級 50 名合格をめざす。  
平成 29 年度は 2 級 1 名、準 2 級 2 名、3 級 34 名
- \* 平成 31 年度の資格取得者・検定試験合格者を 530 名にする。（平成 29 年度はのべ 652 名）

## 4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり

## (1) 平成 31 年度入学者選抜志願者確保

ア 「チーム成城」での組織的な情報発信

- \* 中学校訪問 150 校実施を組織的に取り組み強化し、それを維持する。（平成 29 年 190 校）
- \* 中学 2・3 年生徒・保護者・中学校教員等を 5 回開催し、計 800 名の参加を集める。  
（平成 29 年度は生徒・保護者向け 6 回計約 792 名）
- \* 平成 30 年度入試入学者の第一志望での入学者数をアンケート調査実施。平成 31 年度までに 95%以上を達成する。

イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり

- \* 文化祭・体育祭に合わせて 1000 名以上の来場者を維持する。（平成 29 年度は 1061 名）

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成30年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>昨年度と回答を比較すると保護者より回収80%を維持することができた</p> <p>今回の意見をより詳細に校内で分析し、情報共有することで今後の校内での活動をよりよいものとするための資料とできたことが自己診断の実りである</p> <p>回答は、肯定的意見について生徒では上昇しているが保護者では減少していることから校内の様子をメールや学校新聞などを使いより一層の情報発信を行う必要があると考える。</p> <p>また、保護者からの「判断できない」という回答の多くははじめや学校への相談に対してが多く、「その必要性がある家庭については評価できると思うがよくわからない」というコメントもいただいた。</p> <p>全般を通じて、生徒の学校への満足度が向上していることがうかがえる一方で、今後の課題は保護者と学校とのかかわり方をより密にする方策の検討である。</p> <p>生徒からの評価で、学校や授業への満足度は昨年より向上したとはいえ、明確なプラス評価を得られなかったことは残念である。今後もさらなる向上をめざしたい。</p>	<p>平成30年度 大阪府立成城高等学校 第1回学校運営協議会</p> <p>1 日時 平成30年5月28日(月)14時00分～15時30分</p> <p>2 場所 会議室</p> <p>3 内容</p> <p>(1) 学校長挨拶</p> <p>(2) 協議会委員及び事務局紹介</p> <p>(3) 会長の選出及び職務代理者の指名</p> <p>(4) 保護者から申し出られた意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は意見書の提出なき旨、事務局より報告。</li> </ul> <p>(5) 本校の現状報告と取組み</p> <p>ア 平成29年度学校経営計画 評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度第3回学校協議会にて報告済み。進路保障について、資格取得者652名を追記。</li> </ul> <p>イ 平成30年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革についての内容を盛り込んだ。</li> <li>・校務分掌の再編について。</li> </ul> <p>6分掌から4分掌へ再編成し、プラットフォーム型で次世代のリーダー育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議のスリム化、ペーパーレス化(事前に資料を共有フォルダに保存し必要に応じて取り出す)、業務については、緊急性と重要性を鑑み、計画的に期限等の厳守に努める。</li> </ul> <p>ウ 具体的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月31日(木)校外学習</li> <li>・「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」において、LGBTやアクティブラーニング、平和学習について、外部講師による講演を実施。</li> <li>・校内の雰囲気も落ち着いており、生活指導面では緩和の方向で進めている。</li> <li>・月1回PTA便りを発行する等、PTA活動の活性化を図っている。</li> </ul> <p>(6) 協議</p> <p>ア 地域の行事において、吹奏楽やダンスの披露をしていただきたい。</p> <p>⇒地域の夏祭りや、敬老の日の催し等に参加予定。</p> <p>イ 校則の見直しについて(現在精査中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒と教職員の信頼関係が原点である。</li> <li>・文言の表現や校内放送について教職員側の姿勢の見直しが必要、との指摘をいただいた。</li> </ul> <p>ウ 働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動等の時間的拘束について、生徒の活動内容と教職員の負担、両側面から見直しが必要。生徒のための部活動となるような視点も大切。</li> </ul> <p>エ 「生徒の納得・満足」とは具体的には?</p> <p>⇒教職員自身がしっかり考えるだけでなく、なぜそうなっているのかを生徒にきっちり説明できるように、教職員の様々な経験を全体で共有し指導力の向上をめざす。</p> <p>オ 生徒からの意見を吸い上げるところはあるのか。</p> <p>⇒アンケートを年3回実施している。もっと発信していく必要もある。</p> <p>校長室に直接話をしにくる生徒もおり、また、生徒会役員と話をする機会もある。コミュニケーションが大切。</p> <p>オ PTAより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級委員については、前年度15名から、今年度40名近くに増加。協力的に参加されている。</li> <li>・生徒の様子については、挨拶も元気にしており、華やかな生徒もみられない。規律指導の枠にはめなくても、理解できる生徒が増加したが、校内での「携帯電話は使用禁止、ゲームはOK」ということについては生徒には理解しにくいのではないか、という指摘もある。</li> <li>・体育祭について、工事のためグラウンドが狭い状態、諏訪グラウンド等で実施できないか。⇒トイレ等の関係で難しい。今年度は成城高校グラウンドで実施予定。</li> </ul> <p>カ 教職員の授業力向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中京大学 杉江教授に研修していただき、教職員の‘学びの構え’について、トップダウンではなく、教職員自らが考え納得して実践することができることをめざしている。</li> </ul> <p>キ 久しぶりに成城高校を見て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成城高校は、工業高校→多部制単位制→総合学科→エンパワメントスクールと、何度も体制が変わった。この数年は、厳しい指導を徹底し、生徒も落ち着き、中学生にとって行きたい学校となってきた。短期間にこれだけの変化は素晴らしいとのご意見をいただいた。</li> </ul> <p>(7) 次回協議会の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月末から11月頃で調整する予定。</li> </ul>

	<p>平成30年度 大阪府立成城高等学校 第2回学校運営協議会</p> <p>1 日時 平成30年11月6日(火) 10時00分～11時30分</p> <p>2 場所 会議室</p> <p>3 内容</p> <p>(1) 学校長挨拶</p> <p>(2) 保護者から申し出られた意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は意見書の提出なき旨、事務局より報告。</li> </ul> <p>(3) 本校の現状報告と取組み</p> <p>ア 平成31年度使用教科図書の選定及び採択について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度の使用教科書について説明した(教務より)</li> </ul> <p>イ 学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と同様の設問で実施。→経年変化で検証していく。</li> </ul> <p>ウ 授業アンケート(7月実施)をふまえて</p> <p>国語：進学、就職どちらの進路選択にも国語の知識は必要である。今後各学年に動機づけできるようにしていきたい。</p> <p>数学：生徒は数学の必要性の認識が希薄なので粘り強く伝えていく。論理的な考えを身につけるために、1年生からの積み重ねが必要である。</p> <p>理科：生徒にとって課題が適切かどうかということを常に考え、振り返り学習の習慣と学力の定着を図りたい。</p> <p>社会：1年生の社会入門で全員タブレットを使用して授業を進めている。世界史(2年生)で躓いてしまう生徒への支援が課題である。</p> <p>情報：2年生の検定試験は全員合格した。</p> <p>芸術：授業アンケートの「課題が適切かどうか」の項目について、どう適切でないのか、その設問ではわかりにくい。さらなる検証が必要。</p> <p>電気：2年生は資格取得を含め、目標をもって取り組んでいるが、3年生は進路も決まり、緊張感が低下気味であることが課題。今後、カリキュラムの変更も考えていく。</p> <p>商業：資格取得とマナー習得に力を入れている。資格取得は年々合格者数が増加。茶道の授業では、実習も実施している。</p> <p>保健室：年々、生徒層が幼くなっている印象である。教職員だけでなく、保護者とも連携して生徒支援をしてみたい。</p> <p>(4) 本校のかかえる諸課題について(取組み報告)及び協議</p> <p>ア 学校経営計画について</p> <p>よく検証されている。成城高校は生徒たちも落ち着いている印象。研修等の費用についてはどうしているのか。</p> <p>⇒・本当に教職員の意識が活性化しているのか、中京大学・杉江教授にご指導いただき、授業力向上をめざしている。校長マネジメント予算を活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前より幅広い生徒が入学している。家庭学習は少しずつ定着しており、今後、学力が定着した生徒層をより伸ばしていく支援にも力を入れていく。</li> </ul> <p>イ 台風等非常時の学校対応(休校等)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階で指示がほしい。PTA間でも問合せがある。他校では前日から休校となるケースもあった。HPも午前7時過ぎにしか更新されていなかった。</li> </ul> <p>⇒・より迅速な判断と対応に努めている。今後も引き続き尽力していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職種によっては台風を予測して、前泊して宿泊先から出勤することもある。将来、社会に出たときのことも考え、様々なケースに対応できるよう、力をつけてほしい。</li> </ul> <p>ウ 学校経営計画で授業見学週間となっているが、ポジティブシートやつぶやきシート等を活用して、いつでも授業を見に行けるようにしてはどうか。宿題についても、出し方の調整等、工夫の余地があるのではないかと。</p> <p>⇒・授業見学については、まだ習慣自体が、定着、浸透できていない部分もあるが、今後検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題については、週末課題等を出しており、ボトムアップが進んでいる。</li> </ul> <p>エ 生活指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、欠席、懲戒数が減っているのはなぜか。</li> </ul> <p>⇒・担任だけでなく副担任、学年主任、分掌長の教員等、多くの教職員と話をする機会を設け、組織として指導にあたっている成果であると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事情のある生徒や電車の遅延、通院等は除いて、遅刻が8カウントに達すると別室指導のシステムを有効に活用している</li> </ul> <p>オ コミュニケーション能力の向上やSNSに関する正しい知識の習得等、生徒だけでなく保護者向けの研修も必要ではないか。正しい知識を持って利用することも必要なマナーである、とのご意見をいただいた。</p> <p>カ 卒業式の形態をもっと工夫できるのではないかと。</p> <p>⇒式の時間的な問題や準備の都合等もあるが、検討していく。</p> <p>(5) 校長より</p> <p>成城キャラクター「ミカエル」が完成した。リーフレットにも掲載している。</p> <p>(6) 次回協議会の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年1月末頃で調整する予定。</li> </ul>
--	--

<p>平成30年度 大阪府立成城高等学校 第3回学校運営協議会</p> <p>1 日時 平成31年1月23日(水) 14時00分～15時30分</p> <p>2 場所 多目的室</p> <p>3 内容</p> <p>(運営協議会に先立ち13時30分より商業実務系列3年生による授業内お茶会に参加)</p> <p>(1) 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は落ち着いているが、工事関連でさまざまな課題が生じている。</li> <li>・関連部署で協力し、次年度の北館完成へ向かっている。</li> <li>・学校説明会を4回実施。参加人数も多く、昨年以上に注目されていると感じている。</li> </ul> <p>(1月26日(土) 第5回学校説明会実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度へむけて、校内組織の改変を行った。</li> </ul> <p>(2) 保護者から申し出られた意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は意見書の提出なき旨、事務局より報告。</li> </ul> <p>(3) 本校の現状報告と取組み</p> <p>ア 平成30年度学校経営計画について評価 別紙参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校満足度は48.5% (昨年度38.4% 目標50%)</li> <li>・1年生だけに限っては満足が62.3% モジュール授業など、取組みによる結果が出ている。</li> <li>・評価については達成できた項目が多い。</li> <li>・達成できなかった部分については、年度内に総括を行い次年度への方策を検討する。</li> </ul> <p>イ 次年度の学校経営計画策定について(校長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の「安全・安心」に、「納得と満足」を加える。対話の時間を取りより充実させる。</li> <li>・生徒自身が自己実現をできるように教員がサポートしていく。</li> <li>・校内清掃・整理整頓にむけて、学校全体で意思統一を図る。</li> <li>・5系列の柱を今一度再検討し、より一層の充実を図る。</li> </ul> <p>(4) 本校のかかえる諸課題について(取組み報告)及び協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、欠席の減少がめざましい。具体的な方策はあるのか。 →教員が生徒の出席状況を把握し、担任と共有するようになっている</li> <li>・地域のイベントへどんどん参加して欲しい。 →要望があれば協力するようクラブ活動などをお願いしていく。</li> <li>・進路変更する生徒に対し、情報共有を中学校として欲しい。 →本校では、生徒の状況になにかあれば中学校と可能な限り連携をしている。</li> <li>・クラブ活動の参加率を向上することがよいとは限らない。 →生徒の状況がさまざまなので強制するものではない。 校内での居場所づくりという役割もある。 高校生活を充実させるためにも、一つの方向性として示したい。</li> <li>・いじめ問題について、LINE相談など、多様な相談窓口が増えている。生徒に示して欲しい。</li> <li>・特性のある生徒が増えている。 →生徒に応じて様々な指導を継続していく。</li> </ul>
---

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 成城高校がめざすESとしての成果をあげるための取り組み	<p>(1) ESの基本である学び直し学習を着実にを行い、発展的学力や知識習得ための取組み</p> <p>ア、授業力向上研修と初任者の教師力向上の実施。</p> <p>イ成城みらいプロジェクトの充実</p> <p>ウ ICTを活用した学びの充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業改善プロジェクト」を機能させ授業力向上目的とした研修の企画、立案、実施を計画的に行う。</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「成城みらいプロジェクト」を充実させ、未来を見据えた人材育成と、新たな取り組みへの着手</li> <li>・初任者を中心とした授業公開を、企画・実施し、研究協議を充実させ授業力向上を図る。</li> </ul> <p>・授業見学週間の充実。</p> <p>・5系列が、独自で生徒の学習習慣を定着させるための取り組みを工夫する。</p> <p>ウ・新しい取り組みを積極的に取り入れ、生徒の学ぶ意欲を充実させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わかる授業」「楽しい授業」を実現し、生徒向け学校教育自己診断における授業満足度を30年度は50%に引き上げる。 (平成29年度は38.4%)</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月一回の教頭・首席が中心となるユニットミーティングを実施</li> </ul> <p>・授業観察用紙提出数目標 100枚とする。</p> <p>・宿題の提出率90%以上をめざす。</p> <p>ウ・生徒向け学校教育自己診断において「授業などでコンピューターやプロジェクターを活用している」の項目の満足度を85%にする。(平成29年度は64%)</p> <p>・ICT活用実施者を平成30年度は80%とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の肯定的評価 48.5% (○)</li> <li>1年生だけの数値は62.3%でモジュールでは、まずまずの数値と判断した</li> <li>・業務多忙のため、定期には実施できず (△)</li> <li>・授業見学週間及び自主的見学の述べ枚数 62枚 (△)</li> <li>見学はするが、レポートには至らず。提出しやすい様式に変更予定。</li> <li>・生徒の宿題提出率はほぼ100%に近い。 (◎)</li> <li>・生徒の肯定的評価 79% (△)</li> <li>昨年度からは大きく伸びたが、目標には至らず</li> <li>・教員のICT活用率 100% (◎)</li> <li>ICTが使えない教員はゼロ</li> </ul>

<p>2 高い規範意識で自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活の送れる学校作り</p>	<p>(1) いじめられ経験や不登校経験をもつ生徒への対応の充実 ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC及び担任団を中心としたサポートチームの強化 イ いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導</p> <p>(2)生徒が充実した高校生活を送るための取り組み強化 ア 学校生活を大切にさせるための取組み強化</p> <p>イ 部活動の活性化</p> <p>ウ 学校環境の整備</p>	<p>(1) ア 組織的対応に欠かせない情報共有のため職員会議には近々の事案・事象の報告を行う  イ・式辞及び生徒集会等において常に学校の姿勢を訴えていく。 ・いじめアンケートを必要に応じて随時行い情報収集に努める。</p> <p>(2) ア・教頭、首席が中心となり初任者対象を中心とした、教師力向上研修を継続実施  ・初任者育成プロジェクトで研修を重ね、カウンセリング力を高めることで安易な遅刻、欠席相対の防止  ・アルバイトの制限維持</p> <p>イ・生徒会を充実させ、生徒が中心となって部活動活性化の活動をする。</p> <p>ウ・「ゴミの落ちていない学校」を継続するため校長による巡回と教員への徹底指導継続 ・生徒の自己有用感を持たせるため、教員自らが積極的に感謝の気持ちを表すことに努める。  ・組織の枠組みの見直し・・・教員の連携強化を図り、学びの充実と生徒の夢実現に取り組む ・働き方改革・・・会議のスリム化・定例化。重要性和緊急性の見極めを徹底し、期日に合わせたセルフコントロールを徹底。(期日厳守)</p>	<p>(1) ア・いじめが起因する不登校ゼロをめざす。  イ ・学校教育自己診断における「先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる」を平成30年度75%とする。  ・いじめアンケート3回実施</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断の保護者の項目に「学校への満足指数」を設け、満足度70%をめざす。 ・学校教育自己診断の生徒項目に「成城に入学してよかった」の項目を追加し平成30年度は70%を目標とする。  ・中退率の維持(平成29年度は0.8%)  ・総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。(平成29年遅刻1254回、欠席3482日)  ・届け出を義務付け、担任がその状況を把握し適切指導に役立てる。</p> <p>イ・全学年生徒対象部活動紹介を継続実施する。(全身体験入部2日) 1年生の部活動加入率80%を実現する。</p> <p>ウ 学校教育自己診断の生徒項目に「校内美化に努めている」を追加し、肯定的回答80%をめざす。  ・31年度4分掌構成にし、責任のある計画・立案・実施を行うための準備。 ・学年・分掌・職員会議は基本月に一回とする。 ・期日を守り主幹者の時間ロスをなくす</p>	<p>・いじめが原因となる不登校はゼロ (○)</p> <p>・生徒の肯定的評価 42.9% (△) 「判断できない」を除くと68.6%であったが、目標には至らず。</p> <p>・実施できた (○)</p> <p>・保護者の肯定的評価 75.3% (◎) 次年度はエンパワメントスクールで統一する。</p> <p>・生徒の肯定的評価 68.0% (△)</p> <p>・中退率 0.68% (◎) 4/581</p> <p>・遅刻 (1379回、10%増) ・欠席 (2705回、22%減) (◎)</p> <p>・部活動加入率 51% (△)</p> <p>・アンケート結果から指導不足が露呈した。次年度重点項目に挙げる必要がある (△)</p> <p>・分掌再編成完了。12月に担任団まで発表し、準備にかかることが出来た。(◎)</p> <p>・職員会議は定例は月に一回実現。(○) ・期日を守っての働き方改革はできた (○)</p>
--	--	---	---	--

<p>3 進路保障</p>	<p>(1) 基礎学力を身に 着け、発展的学力を充 実させる取り組み。 ア公開授業・研究協議 を充実させた授業改 善。</p> <p>イ「主体的・対話的で 深い学び」の探求・実 践・充実</p> <p>(2) 希望進路の実現を めざし、高いモチベー ションを維持するた めの取り組み ア進路指導部主導型 の進路指導体制構築</p> <p>イ社会で役立つ資格等 を取得するための取 組みと、進学に向けた 英語、数学、国語の進 学講習の充実。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 研究授業、公開授業、授業見学を計画的・ 組織的に実施。各学期に1度</p> <p>イ・教育産業が実施する学力診断テストを継続し、 生徒の学力を定点観測し、生徒のモチベーション を上げるとともに、教員のスキルアップの材料と する。</p> <p>・大学と連携を図り「主体的・対話的で深い学び」 の校内研修を実施する。2回計画</p> <p>(2)</p> <p>ア・計画的な進路指導と、保護者懇談等を通じての 情報提供を積極的に行う。</p> <p>・大学・短大進学、就職・公務員・専門学校、看 護医療の4つの係に担当を明確化し、学年団への 指導と進路希望別に生徒への直接指導を行う。</p> <p>イ・積極的に実用英語検定を受験させる。(1年生は 全員必須) またそのための学習の機会を設ける。 ・生徒・保護者への周知・指導強化</p>	<p>ア・生徒向け学校教育自己 診断における授業満足度を 70%にする。 (平成29年度は38.4%)</p> <p>イ・学力判定指標D3の割合を 10%下げ全体の15%以下とす る。(平成29年度は15%減)</p> <p>・職員研修参加率95%を 実現する</p> <p>・平成31年度生徒対象学校 教育自己診断で「授業が充実 している」回答80%とする。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校教育自己診断にお ける「学校は将来の進路や職 業について、適切な指導を行 っている。」について平成30 年度は90%を目標とする。 (h29 79.1%)</p> <p>・卒業時進路未決定者0(ゼロ)実現</p> <p>イ・平成30年度は実用英語検定2 級1名準2級10名3級40名を 実現</p> <p>・資格取得者・検定試験合格者を 500名にする。(平成29年度はの べ652名)</p>	<p>・生徒の肯定的評価 48.5% (△) 1年生だけの数値は62.3%でモジュールで はまずまず</p> <p>・D3 8.4% (◎)</p> <p>・研修参加率 92% 校内研修延べ実施回数 5回 参加者総数(278)名 対象職員数(301)名 (△)</p> <p>・生徒の満足度 (63.6)% (△) * 授業に関する4項目の平均</p> <p>・生徒の満足度 (81.3)% ・保護者の満足度 (86.8)% (△)</p> <p>・現在進路未決定者2名 (○)</p> <p>・2級(0)名 準2級(1)名 3級(33)名 (△)</p> <p>・434名 (△)</p>
-------------------	---	--	--	---

<p>4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり</p>	<p>(1) 平成 29 年度入学者選抜志願者確保</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <p>イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり</p>	<p>(1)</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問を維持し、本校の実践内容を広く知ってもらおう。</li> <li>・学校説明会や地域における説明会への管理職を中心に組織的に取り組み、経験の少ない教員にも経験を積ませる。</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の諸機関・事業所との交流・連携</li> <li>・文化祭・体育祭の地域等への門戸開放を一層進め、内容の充実を図る。</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>ア・中学校訪問 150 校実施を組織的に取り組み、強化しそれを維持する。 (平成 29 年 190 校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学 2・3 年生徒・保護者・中学校教員等を 5 回開催し、計 800 名の参加を集める。 (平成 29 年度は生徒・保護者向け 6 回約 792 名)</li> <li>・平成 30 年度入試入学者の第一志望での入学者数をアンケート調査実施。80%をめざす</li> </ul> <p>イ・広報活動の充実。 成城ニュースを積極的に発行し、玄関前に掲示すとともに、了解の得られた地域や中学校へ啓示願う。HP の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の祭り、自治体の催し物への積極的参加。 (平成 29 年度は吹奏楽部が福祉施設へ慰問。軽音楽部が持ちつき参加)</li> <li>・体育祭・文化祭に合わせて 1000 名以上の来場者を迎える。 (平成 29 年度は 1061 名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校訪問実施校 226 校 (◎)</li> <li>・学校説明会 5 回開催 参加者 1007 名 41%増加 (◎) (昨年度 712 名)</li> <li>・地域の小規模塾系向け学校説明会 1 回開催 (◎)</li> <li>・中学校進路主事向け学校説明会実施 (◎)</li> <li>・第一志望者割合 86% (◎)</li> <li>・成城ニュースを 100 部発行。 (昨年度 88 部) (◎) 地元の中学校へも配布し、掲示いただいた。</li> <li>・ダンス部、吹奏学部が地域の施設で講演し、好評を得た。次年度もぜひのお声をいただいた。</li> <li>・地域の祭りに工芸部の出店を依頼され、2 日間出店。好評であった。(◎)</li> <li>・体育祭 154 名、文化祭 879 名計 1033 名を迎えることが出来た。(○)</li> </ul>
---------------------------------------	---	---	---	---